

柏市男女共同参画推進計画の進行状況（基本課題Ⅰ～Ⅵ 平成20年度実施分）

基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

目標1 女性の人権を擁護するための環境づくり

施策	具体的な施策	実施状況	男女共同参画の視点	担当課
(1) 女性に対するあらゆる暴力の排除	①相談体制の充実 女性に対するあらゆる暴力を排除するため、暴力の被害を受けた女性が安心して相談できる窓口の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化します。 ・相談窓口の充実 法律相談 人権相談 女性のこころと生き方相談 女性相談 ・相談員の知識・対応技術の向上 ・関係機関との連携強化 警察 病院 配偶者暴力相談支援センター 民間グループ ・DV加害者の相談に関する情報収集 ・広報等による情報提供 ・職員対象のセクハラ相談窓口における迅速な対応	・相談窓口の充実 広報広聴課にて、弁護士による法律相談、人権擁護委員による人権相談、市民相談員及び職員による市民相談を実施した。（DV相談件数58件） 児童育成課にて、母子自立支援員による相談を実施し、暴力を受けた母子の相談・支援を行った。（DV相談件数45件） 男女共同参画室にて、女性のこころと生き方相談を実施し、暴力を受けた女性の相談・支援を行った。（DV相談件数50件） DVに関する庁内の連携を図るため、男女共同参画室、児童育成課、広報広聴課、生活支援課、地域包括支援センター、市民課、保健所、学校教育課による「DV関係課ネットワーク会議」を開催した。 庁内関係各課の職員及び相談員が、DV・児童虐待相談新任職員研修や配偶者暴力支援センター連絡会議に参加し、DV問題に関する知識や相談者への対応技術の向上に努めた。	3, 4, 5	広報広聴課
			4	児童育成課
			4	男女共同参画室
		・関係機関の連携強化 関係機関との連絡会議（DV対策担当課長会議 DV被害者支援連絡会議、柏警察署管内犯罪被害者支援連絡協議会総会）にて、情報・意見交換を行った。	4	関係部署

		・DV加害者の相談に関する情報収集 柏市インターネット男女共同参画推進センター（参画eye）にて、国や県及び民間団体主催のDV加害者の相談や講座について情報収集提供した。	4	男女共同参画室
		・職員対象のセクハラ相談窓口における迅速な対応 相談には必ず女性職員が入るようにするなど、女性が相談しやすいように配慮している。相談件数は、0件だった。	4	人事課
	②DV被害者への支援 被害を受けた女性の緊急一時保護や自立へ向けて、関係機関との連携のもとに支援を行います。 ・一時保護事業の充実 緊急避難支援及び緊急一時保護 民間一時保護施設への支援 ・保護施設等との連携 ・被害者の自立支援 就業相談等	・一時保護事業の充実 サポートセンターへの一時保護はなかった。一時保護施設を運営するNPO法人かしわふくろうの家に対し、500,000円の補助金を交付した。	1, 4	男女共同参画室
		・保護施設との連携 サポートセンターから母子生活支援施設への入所措置を行った。（1件）。	1, 4	児童育成課
		・被害者の自立支援 母子自立支援プログラム策定事業（就業支援）として、就業相談の後ハローワーク松戸を紹介した。	1, 4	児童育成課

(2) メディアにおける女性の人権の尊重	③人権尊重と女性への暴力防止に関する広報、啓発 女性に対するあらゆる暴力を許さない社会づくりのため、暴力の実態を把握するとともに、広報、意識啓発に努めます。 ・シンポジウム、情報紙等による啓発 ・暴力に関する意識調査	・シンポジウム、情報紙等による啓発 11月14日、県・県警・市主催により、柏駅東口で「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーンを実施し、相談窓口の周知や暴力防止への啓発を行った。 ・女性に対する暴力をなくす運動期間中、女子トイレ等にDV相談カードを設置した。また、1月のシンポジウムにて女性のこころと生き方相談に関する啓発物品を配布した。 ・暴力に関する意識調査 暴力に関する意識調査は行わなかった。	4	男女共同参画室
	①広報・出版物等における表現の見直し 市の広報・出版物等において性別役割分担意識に基づく表現を使用していないか見直します。 ・広報・出版物等における男女平等の視点に立った表現の使用 ・ガイドラインの作成と活用	・広報・出版物等における男女平等の視点に立った表現の使用 広報かしわ紙面内・かしわシティネット内での表現・イラストなど、女性・男性双方にとって不愉快のないよう配慮した紙面づくり・ホームページづくりを行った。ジェンダーに関するクレームは0件だった。	3, 5	広報広聴課
		・ガイドラインの作成と活用 内閣府作成「公的広報の手引き」を活用し、情報紙の編集講座を行い、男女平等の視点にたった紙面づくりに配慮した。	4, 5	男女共同参画室

	②メディア・リテラシーの育成 メディアから提供される情報を男女平等の視点から判断する力をつけるためにメディア・リテラシー向上のための学習機会を提供します。 ・メディア・リテラシー向上のための学習 機会の充実	・メディア・リテラシー向上のための学習機会の充実 情報紙づくりの講座の中で校正体験を行い、発信する側の表現上の注意点を促した。(参加者 女性1人・男性3人)	1, 2, 4, 5	男女共同参画室
(3) 国際社会における男女平等の推進	①諸外国の女性問題の情報の収集及び提供 諸外国の女性問題やその取組・支援策について情報を収集・提供します。 ・情報の収集及び提供	・情報の収集及び提供 参画 eye にて、諸外国の女性問題やその取り組み・支援策について情報を提供した。	4, 5	男女共同参画室
	②市内の在住外国人に対する支援 日本人との婚姻や就労により来日した外国人女性に対し、生活情報の提供、離婚問題・配偶者の扶養義務拒否等に関するアドバイスや相談窓口の紹介をします。 ・外国人のための相談窓口の充実	・外国人のための相談窓口の充実 外国人アドバイザーによる外国人相談を週3日実施。(英語＝月曜日、中国語・スペイン語＝水曜日。いずれも午後1時～5時) 相談件数：172件	3, 4, 5	国際交流室

目標2 女性の生涯を通じた健康支援

施 策	具 体 的 な 施 策	実 施 状 況	男女共同参画の視点	担 当 課											
(1) 性と生殖の健康・権利の理解と普及	①性と生殖の健康・権利に関する啓発 ライフサイクルを通じて、性と生殖の健康・権利について、男女ともに留意することができるよう「性と生殖の健康・権利」の重要性についての周知や情報提供に努めます。 ・広報紙等による情報提供	・広報紙等による情報提供 参画 eye の「キーワード集」で「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の趣旨の説明をしている。 また、「参画ニュース」や「講座・イベント」でも関連する情報を掲載している。	4	男女共同参画室											
	②性に関する正しい知識・情報の提供、学習機会の充実 「性と生殖の健康・権利」の重要性について、学習機会の充実と情報提供に努めます。 ・学校における性教育の充実 ・家庭における性教育を支援する学習機会の充実	・学校における性教育の充実 市内小中学校の養護教諭及び保健主事を対象として、性教育の進め方の研修会を開催した。また、柏市養護教諭会が作成した手引き「生と愛と性」を活用し、情報の提供を行った。	4	学校保健課											
		・家庭における性教育を支援する学習機会の充実 各近隣センターで次の講座を開催した。 <table><tr><th>講座名（近隣センター名）</th><th>延べ参加者数</th><th>保育</th></tr><tr><td>親子セミナー（光ヶ丘）</td><td>17人(女性) 20人(乳幼児)</td><td>あり</td></tr><tr><td>子育てセミナー「松葉っ子」(松葉)</td><td>19人(女性)</td><td>なし</td></tr><tr><td>子育てセミナー（豊四季台）</td><td>35人(女性)</td><td>あり</td></tr></table>	講座名（近隣センター名）	延べ参加者数	保育	親子セミナー（光ヶ丘）	17人(女性) 20人(乳幼児)	あり	子育てセミナー「松葉っ子」(松葉)	19人(女性)	なし	子育てセミナー（豊四季台）	35人(女性)	あり	1, 4
講座名（近隣センター名）	延べ参加者数	保育													
親子セミナー（光ヶ丘）	17人(女性) 20人(乳幼児)	あり													
子育てセミナー「松葉っ子」(松葉)	19人(女性)	なし													
子育てセミナー（豊四季台）	35人(女性)	あり													

(2) 女性の健康保持と増進	①女性の健康支援 妊娠・出産や更年期など、心身の変化に対応した健康診査、保健相談等により、健康づくりを支援します。 ・妊産婦の健康診査、相談及び指導 ・女性の健康管理に関する講座等の実施 ・女性のための各種健康診査等の充実	・妊産婦の健康診査、相談及び指導 妊婦一般健康診査 17,649人 妊産婦の相談については、にこにこダイヤルかしわ、母子保健コーナー等で応じている。 妊産婦訪問指導 998人 ・女性の健康管理に関する講座等の実施 乳がん健診の健康講座を実施した。(参加者数延べ152人) 初妊婦を対象に母親学級を実施した。(参加者数390人) 妊婦と家族を対象に保健栄養講座を実施した。(参加者数117人) ・女性のための各種健康診査等の充実 乳がん検診(受診者数18,723人) 子宮がん検診(受診者数18,267人) 女性の基本35(受診者数462人)	3, 5	地域健康福祉課
	②健康をおひやかす問題についての情報提供 HIV/エイズ、性感染症、喫煙、環境汚染など女性の健康をおひやかす問題から、生命・健康を守るための正しい知識・予防対策について情報提供に努めます。 ・学校における性感染症等に関する教育の充実	・学校における性感染症等に関する教育の充実 小学校では、体育の保健領域において、中学校では、保健体育の保健分野において、発達段階に応じてHIV/エイズ、性感染症の予防、喫煙等の健康な生活をするための授業を行った。 地域健康福祉課では、市内小中学校にて、依頼による健康教育を実施し、性感染症予防等の啓発を行った。	3, 4	学校保健課

	・広報紙等による情報提供 ・講座の開催 ・環境問題に関する情報提供	・広報紙等による情報提供 広報紙等による情報提供は行っていないが、「たばこ講演会」を開催した。また、母親学級・両親学級・母子健康手帳交付時・母と子のつどいに啓発用チラシを作成し、情報提供している。	3, 5	地域健康福祉課
		・環境問題に関する情報提供 広報紙等による有害物質（主に野焼き）に関する情報提供を行った。また、柏市環境保全条例や柏市ダイオキシン類発生抑制条例に基づき、公害苦情の相談を受け、状況把握と指導助言を行った。	2, 3, 5	環境保全課